

SAF (再生可能代替航空燃料) の製造、 サプライチェーンに関するNEDOの取り組み



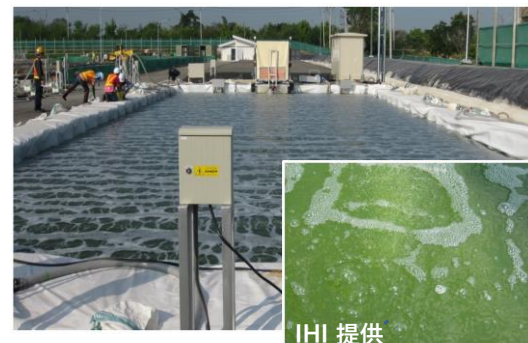
NEDOは産業技術力の強化を目指し、実用化開発における各段階の技術開発に取り組み 新技術の市場化を図っています。

エネルギー・環境分野の2050年GHG排出削減に対し、輸送モード燃料における重要な技術展開テーマとして、2030年頃のSAF社会実装を目指したプロジェクト『バイオジェット燃料生産技術開発事業(2017～2024年度)』があり、昨年政府が策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」とも連携を図りながら、現在SAF製造とその展開(サプライチェーン)に鋭意取り組んでいます。

1. 一貫製造プロセスに関するパイロットスケール試験 (期間: 2017/4～2021/5)



木くずを原料としたガス化・FT合成技術によるもの(三菱パワー/JERA/東洋エンジニアリング/JAXA)と微細藻類の安定培養を経て収穫した藻油による(IHI) SAF生産、更に国内線有償便給油までのサプライチェーン全体の具体化に着手。現在JET A-1混合後のSAF製造まで終了。



2. 微細藻類基盤技術開発 (期間: 2020/8～2023/3)

日本微細藻類技術協会(IMAT)、ちとせ研究所、電源開発、ユグレ/デソ/伊藤忠/三菱ケミカル、4事業者による微細藻類の各種培養技術開発

3. 実証を通じたサプライチェーンモデルの構築 (期間: 2020/10～2022/3)

Biomaterial in Tokyo/三友プラントサービス、ユグレ、2事業者各々による生産/供給体制の確立

4. 微細藻類技術によるバイオジェット燃料実用化に係る技術ロードマップの策定

(技術動向調査 期間: 2020/12～2021/8) 三菱総合研究所